

2014 年度

線型代数学演習 A

注意事項

2014 年 4 月 14 日配布

演習の進め方

毎回 90 分間のテスト形式で行う。

授業開始（16時30分）とともに解答を開始するので、それに間に合うように教室（6号館401号室）に入っておくこと。

解答時間は授業終了（18時）までとし、授業終了後、教室にて略解を配布する。なお、授業終了前に退出を希望する者は、答案を提出することにより退出しても構わないが、授業終了まで再入室することを認めない。

各回終了後、次回の内容の要約と例題を配布する（ただし、次回が復習の回の場合は除く）。演習において、この要約と例題のみ持ち込みを認める。それ以外の教科書・参考書・問題集等は持ち込みを禁止する。

演習終了後に、問題と略解、および次回の要約と例題を下記 web ページにて公開する。また、履修登録終了後は KULASIS においても公開する。必要ならば、それらから入手してもらいたい。

<http://www.math.kyoto-u.ac.jp/~kikuchi/faculty/exla2014a/2014exlaa.html>

演習の予定

以下はあくまで一つの目安である。変更される可能性があるので注意するように。

4月 14日	説明※1	6月 16日	部分ベクトル空間
4月 21日	複素平面	6月 23日	基本変形と階数その1
4月 28日	数ベクトル空間	6月 30日	基本変形と階数その2
5月 5日	祝日（こどもの日）	7月 7日	置換
5月 12日	抽象ベクトル空間	7月 14日	行列式その1
5月 19日	行列	7月 17日	行列式その2※2
5月 26日	写像と線型写像	7月 21日	祝日（海の日）
6月 2日	線型写像の行列表示	7月 28日	復習
6月 9日	復習		

※1 初回はこの演習の進め方についての説明のみとし、テストは行わない。

※2 7月17日は木曜であるが、月曜授業に振り替えられる。

成績評価

各テストは120点満点とする。それぞれ60点以上を合格とし、合格が7回以上であれば、少なくとも可以上の評価を与える予定である。

合格者掲示・答案返却

各回ごとに、採点が終了次第 3号館1階数学教室談話室横の掲示版に合格者を発表する。また、答案は数回にまとめて演習時に返却する。

高村 茂
菊地 克彦